

福島県半導体関連産業協議会 会員各位

福島県半導体関連産業協議会
会長 門馬秀夫

「とうほく6県 新技術・新工法展示商談会」
出展企業の募集について（通知）

このたび、トヨタ自動車株式会社、トヨタグループ各社及びトヨタ関連企業に対して、東北6県企業の持つ新技術や新工法を提案・アピールし、トヨタグループ各社との具体的取引や協力関係の構築を目指す商談会が下記のとおり開催されます。

当商談会は、福島県輸送用機械関連産業協議会が会員各位に対し案内をしておりますが、福島県半導体関連産業協議会の会員につきましても案内をさせていただくこととなりました。

つきましては、下記および別添の出展者募集要領をご覧頂き、ご希望がありましたら福島県半導体関連産業協議会事務局（福島県産業創出課 菅野主査）へお申し込みください。

記

<開催概要>

- 1 会 期 平成21年10月27日（火）9:30-17:00
平成21年10月28日（水）9:30-16:00
（なお、29日は希望者による企業見学会を予定）
- 2 会 場 トヨタ自動車（株）サプライヤーズセンター（愛知県豊田市トヨタ町1番地）
- 3 来 場 者 トヨタ自動車（株）をはじめとするトヨタグループ各社
- 4 出展規模 （東北6県で）50ブース
- 5 参加料 別紙「出展者募集要領」を参照願います

<募集概要>

- 1 対象企業 福島県輸送用機械関連産業協議会又は福島県半導体関連産業協議会の会員企業で、今後自動車関連企業からの新規受注や取引の拡大を積極的に図ろうとし、新規性が高く、「コスト」、「質量」並びに「生産/作業性」の改善が見込める提案をできる企業。
- 2 募集数 福島県内から5社程度
- 3 申込方法 出展申込書（別添1）及び共通パネル様式（別添2）を、福島県半導体関連産業協議会事務局（福島県産業創出課）へ提出願います。出展申込書等は福島県半導体関連産業協議会ホームページ（<http://www.fuku-semi.jp/>）からダウンロードできます。
- 4 申込締切 平成21年5月18日（月）（申込をとりまとめ、福島県輸送用機械関連産業協議会事務局に提出をします）
- 5 選 考 東北各県の選考委員で構成される選考委員会で審査のうえ、選考されます。

【申込・問い合わせ先】

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 県庁西庁舎10階
福島県商工労働部産業創出課 主査 菅野昭広
電話 024-521-7283 FAX 024-521-7935
E-Mail kanno_akihiro_02@pref.fukushima.jp

**「とうほく6県 新技術・新工法展示商談会」
出展申込書（福島県半導体関連産業協議会 会員分）**

福島県半導体関連産業協議会事務局 福島県商工労働部産業創出課 菅野 行

E-mailにて提出願います。

E-mail : kanno_akihiro_02@pref.fukushima.jp

標記展示商談会への出展を申し込みます。

平成21年 月 日

会社名		代表者名	
所在地	〒	創 業	
		資 本 金	
		従 業 員	
T E L		F A X	
U R L		業 種	
主な事業 内 容	40字以内（句読点含む）で記載願います。		
特 長	PRすべき特長について、最大3項目記載願います。（1項目は35文字以内（句読点含む）で記載願います） ・ ・ ・		
提案テーマ		展示区分	
展示内容			
自動車関連 主要取引先	実績が多い順に5社程度記載願います。 ・ ・ ・ ・ ・	認証取得	
海外生産 拠点	国名（地域）	輸出実績	国名（地域）

担当者

所 属		役 職		氏 名	
連絡先	T E L（会社） （携帯）		F A X		
	E-mail				

県別新技術・新工法展示会 提案用紙(白紙)

展示No	区分	部品	素材/材料	設備/装置	金型/治工具	システム/ソフトウェア	その他()
		提案名				工法	新規性
会社名				所在地			
連絡先				URL :			
部署名 :				Tel No. :			
担当名 :				E-mail :			

<< 提案内容 >>

提案の狙い	適用可能な製品/分野	主要取引先	海外対応
原価低減 質量低減 生産(作業)性向上 品質/性能向上 安全/環境対策 その他()			可 否 生産拠点国を記入

従来	新技術・新工法

セールスポイント(製造可能な精度/材質等)	問題点(課題)と対応方法

開発進度	(年 月 現在)	パテント有無
アイデア段階 試作/実験段階 開発完了段階 製品化完了段階		

		コスト	質量	生産/作業性	その他()
従来との比較	従来	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100
	今回提案	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100	20 40 60 80 100

県別新技術・新工法展示会 提案用紙(記入要領)

提案対象は何か、以下該当項目にチェック
 アピールポイントが提案名ですぐわかるように記入

展示No	区分	部品	素材/材料	設備/装置	金型/治工具	システム/ソフトウェア	その他()
2		SUS材の深絞り技術による切削加工の廃止				精密深絞り	新規性
会社名		工業 株式会社		営業/技術部署(課長名)		所在地	
連絡先		営業技術部 第1営業技術課		担当名 豊田 太郎		URL *http://*****.com	
						Tel No. 056-***-****	
						E-mail *****@*****.jp	

以下参考
 熱間鍛造
 冷間鍛造
 鋳造
 焼結
 ダイキャスト
 プラスチック
 樹脂成形
 ゴム成型

<< 提案内容 >>

提案の狙い	適用可能な製品/分野	主要取引先	海外対応
原価低減 質量低減 生産(作業)性向上 品質/性能向上 安全/環境対策 その他()	SUS材を使用した自動車の計器用ケース	***** (株) ABC工業(株)	可 否 生産拠点国を記入 北米、ドイツ 中国、インドネシア
従来		新技術・新工法	

輸出可否では無く
 生産拠点有無を記入

以下参考
 世界初
 日本初
 自動車
 業界初
 該当部品
 初適用
 など

・他社にない優位性が一目でわかるように**ポイントのみ箇条書き**で記入。
 一般的な会社紹介・製品概要、及び製品メカニズムの説明など、長文による詳細説明は絶対避けて下さい。(必要であれば別紙で説明)

・図・ポンチ絵・写真等を極力取り入れ、新旧比較による差を明確に記入してください。

・製品展示、デモンストレーション、VTR等を活用しより分かりやすい説明を工夫し

セールスポイント(製造可能な精度/材質等)	問題点(課題)と対応方法
板厚(0.5mm ~ 1.5mm)	板厚0.5mmより下は材質変更が必要

極力具体的な項目と数値で記入
 提案内容の開発進捗を選択

開発進捗	(**年 **月 現在)				特許有無			
	アイデア段階	試作/実験段階	開発完了段階	製品化完了段階	有り(No***)			
従来との比較	コスト		質量		生産/作業性		その他(耐久性)	
	従来	今回提案	従来	今回提案	従来	今回提案	従来	今回提案

提案内容の効果(嬉しさ)を上記観点で比較しグラフ化してください